

小学校のキャリア教育プログラム

地域の実態

各学校で掲げた全体目標（学校経営方針・教育目標等を考慮）

キャリア教育の全体目標

児童の実態

アンケートの分析結果等から記入する。

焦点化した基礎的・汎用的能力

かかわる力・みつめる力・解決する力・えがく
力のいざれかを記入する。

「力」

題材名（核となる体験活動）
を入れる。

1年

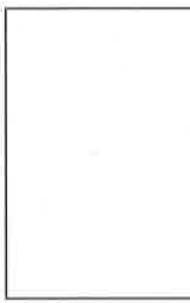
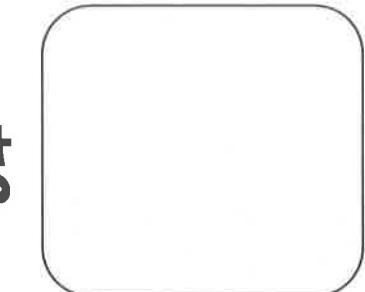
3年

4年

6年

2年

5年



中学校のキャリア教育プログラム

各学校で掲げた全体目標（学校経営方針・教育目標等を考慮）

地域の実態

キャリア教育の全体目標

アンケートの分析結果等から記入する。

生徒の実態



焦点化した基礎的・汎用的能力

「

かかわる力・みつめる力・解決する力・えがく力のいづれかを記入する。

力

2年

1年

題材名（核となる体験活動）を入れる。

3年

目指す生徒像を入れる。
評価することを考えて、「～することができる。」と記入する。

○○中学校のキャラ ||| 教育プロダクツ

地域の実態

- 周囲を山や畠で囲まれている。
 - 〇〇〇踊りや〇〇の錦踊り、もぐらもち等の伝統文化が残っている。
 - 他地域に比べて、第一次産業に携わる方の割合が高い。
 - 保護者へのアンケートで、「いろいろな職種の人の声を聞かせたい。」という声が多い。

「えがく」力

- ① 農業体験

② 小中高ウォークラリー

③ 小中交流活動

① 生産者のやりがいや苦労を理解して、働くことの意義について考えることができる。

② 高校生と一緒に活動し、3年後の自分の姿を想像することができます。

③ 中学生として、あるべき姿を考え活動することができる。

キヤリカ教育の全体目標

- ・ 自己の理解を深め、夢や希望を持って、将来の生き方や生活を考え、自ら学習に向かおうとする態度を育てる。
 - ・ 他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、さまざまなコミュニケーションを図り、協力・共同して物事に取り組む生徒
 - ・ 学ぶことや働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を利用し、自己の進路や生き方の選択に生かす生徒
 - ・ 夢や希望をもつて将来の生き方や生活を考え、社会の実現を踏まながら、前向きに自己の将来を設計する生徒
 - ・ 自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する生徒

2年

- | | | |
|--------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| ① 小中交流活動 | ② 職場体験 | ③ 立志式 |
| ① 3年生の活動をサ あるべき姿を考える。 | ② 職場体験を通して、 けなければならな きる。 | ③ 立志式を通して、 謝と将来の自分に とができる。 |

三

- ① 環境学習

② 小中交流活動

① 環境学習を通して、社会へどのように貢献できるかを考える。

② 先輩として、小中活動を企画し、後輩に発表する。

全体構想（年間指導計画になります）

めざす児童・
生徒像

・
・

全体プログラムの目指
す児童・生徒像が入りま
す。

【 】

焦点化した育成したい力（基礎的・汎用的能力）
が入ります。※置き換えた言葉を使用する。

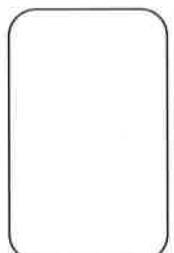
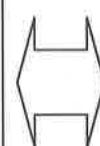
核となる「体験活動」を明記

(1) 教科としての目標

※ 目標をしっかりと意識するため。

(2)キャリア教育の視点に立って授業実践す
るための手立て

※ 体験活動の事前・事後の指導も含めて
考えた方がよい。やりっ放し・させっぱ
なしにならないため。



上の核となる「体験活動」につながる題材を、教科・特別活動・道徳・行事・係活動等を選
択する。

※ 研修では学年職員で分担して、付箋紙に記入して貼っていくとよい。

※ 内容は精選すること。無理に結びつける必要はない。

矢印で結んでいくが、一方通行➡なのか、双方向↔なのか検討する。